

実質単年度収支の推移

実質単年度収支は、単年度収支から実質的な黒字要素（財政調整基金積立金、地方債繰上償還額）や赤字要素（財政調整基金取崩額）を加減したもので、当該年度における実質的な収支を把握するための指標です。

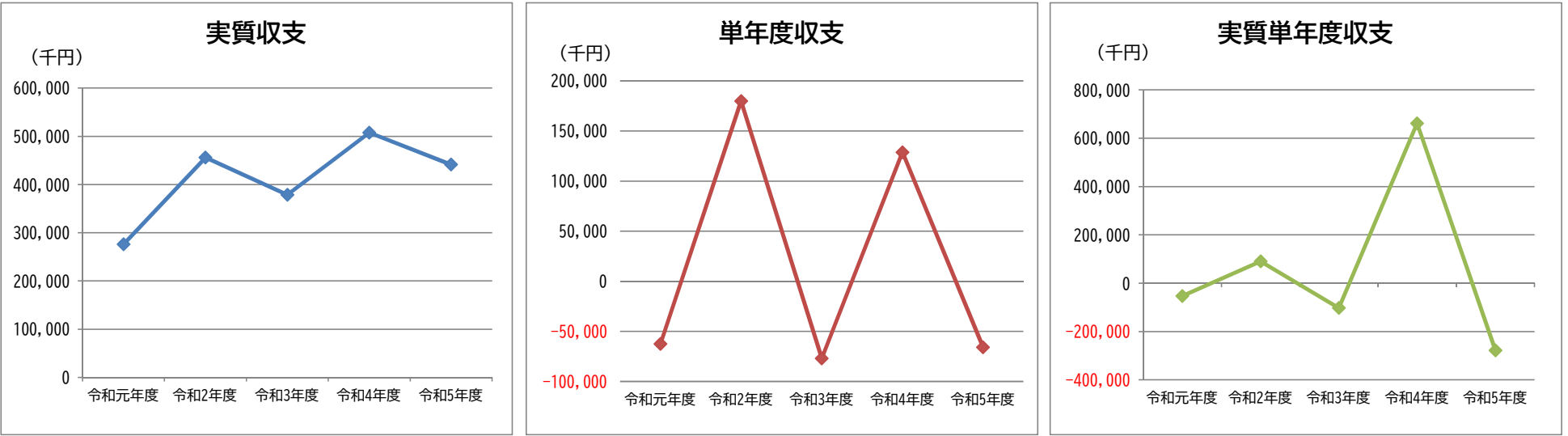
(単位：千円)

年 度	歳入決算額(A)	歳出決算額 (B)	歳入歳出差引額 (A) - (B) (C)	翌年度に繰り 越すべき財源 (D)	実質収支(E) (C) - (D)	単年度収支(F)	積立金(G)	繰上償還金(H)	積立金取崩額(I)	実質単年度収支(J) (F)+(G)+(H)-(I)
令和5年度	18,633,748	18,060,104	573,644	132,242	441,402	△ 66,007	270,234	194,548	676,915	△ 278,140
令和4年度	17,180,945	16,540,169	640,776	133,367	507,409	128,804	439,665	93,091	0	661,560
令和3年度	16,617,561	16,034,297	583,264	204,659	378,605	△ 77,115	243,384	0	269,141	△ 102,872
令和2年度	18,531,057	17,889,613	641,444	185,724	455,720	179,876	156,657	0	246,524	90,009
令和元年度	14,747,904	14,329,262	418,642	142,798	275,844	△ 62,639	328,390	0	319,509	△ 53,758

令和5年度につきましては、歳入では、地方税、地方交付税等が減収したものの、国庫支出金やふるさと応援寄附金のほか、投資的事業に充当するため市債が増となったことで、前年度に比べ8.5%の増となりました。歳出では、市営新体育館や総合運動場の整備をはじめとした投資的経費が大きく増加したことなどにより前年度に比べ9.2%の増となりました。

実質単年度収支は、繰上償還を実施したものの、単年度収支が赤字となったことに加え、積立金の取崩が積立額を上回ったことで赤字となりました。

今後も、収入確保や各種事業、公共施設のあり方等の見直しを進め、尚一層健全な財政運営に努めていきます。



【参 考】 実質収支 = 歳入歳出差引額 - 翌年度に繰り越すべき財源
単年度収支 = 当年度実質収支 - 前年度実質収支
実質単年度収支 = 単年度収支 + 積立金（財政調整基金） + 繰上償還額 - 基金取崩額（財政調整基金）